

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

御言葉	黙示録 7:9-17
賛美	黙示録 21:3,4(PPT 11)
使徒信条	会衆一同
交誦文	58
賛美	主だけに (PPT 15)
メッセージ	救いの置き所 (マタイ 21:6-11)
日本を執り成す祈り	会衆一同
主の祈り	会衆一同
Ⅱコリント13:11-13	パスター
報告	

震災にある日本のための祈り

今、実際的な助けを必要としている人達に、一刻も早く助けが備えられるように。  
 上に立てられている権威に良き知恵が与えられ、正しい判断によって混乱なく指示を出しますように。  
 今、被災地で救助活動しておられる働き人達の手が守られ、滞りなく進められますように。  
 分子の陽子・電子・中性子に至るまで、全宇宙の運行を全て支配し管理しておられる主・イエスの名によって、原発や地下プレートが、この国の人々に害する事を禁じます。  
 今、人を脅かしているあらゆる自然の活動に対し、地の深みから山々の頂に至る全地を統べ治めておられる主イエスの名によって、これ以上この国に害を及ぼす事を、禁じます。  
 人々を害す邪悪な人的・霊的な存在には、自ら掘った墓穴に入るよう呪います。  
 陽子・電子・中性子から全宇宙の運行に至るまで、全て支配し管理しておられる、主イエスの名によって、日本を祝福します。アーメン。

祝福の御言葉(民数記 6:23-26)

以下の空欄に、次の言葉を入れて祈りましょう。

- ①今災害に遭っている人々
- ②今救助に当たっている人々
- ③原発で復旧活動している人々

主が\_\_\_\_\_を祝福し、\_\_\_\_\_を守られるように。  
 主が御顔を向けて\_\_\_\_\_を照らし、\_\_\_\_\_に恵みを与えられるように。  
 主が御顔を\_\_\_\_\_に向けて、\_\_\_\_\_に平安を賜るように。

私達の主・イエス様の名前によって。アーメン。

本日 4/17 は、教会暦では「しゅろの聖日(パームサンデー)」にあたり、次週日曜日 のイースター(復活祭) 前日の土曜日までの 1 週間を「受難週(Passion Week)」としている。  
 「しゅろの聖日」の名前の由来はイエス様がろばに乗ってエルサレムに入城された時、人々は各々の衣服や、しゅろの葉を置いて「ホサナ」と叫びつつ歓迎した事から呼ばれている。(マタイ 21:6-11)  
 この日、群集は諸手を挙げてイエスを歓迎したのだが、その 1 週間後、彼らはこぞってイエスを「十字架につける」と叫び、つばをかけ、十字架を引き摺って歩くイエスを罵った。この落差は一体何だろうか？

ホサナ という言葉は、現代キリスト教では神を褒め称える礼典的な響きを持つ言葉となっているが、元々はヘブライ語で「ホシア・ナ」、これは「おお！救って下さい」という意味である。  
 群集の叫びの動機は、褒め称えるというより「救って下さい」のニュアンスが濃かったかもしれない。  
 人々はそれぞれの身勝手なメシヤ像を思い描き、ローマの支配から力強く救ってくれる者、パンをいつでも提供してくれる者、病気や悪霊を追い出してくれる者、といった幻想を、イエスに抱いていた。

人とは身勝手なもので、奇跡によってパンを増やしてくれると期待していたメシヤがパンをくれず、「わたしがまことのパンです」と言い出すと、皆去って行った。  
 清純派で売っていたアイドルが実は不純だったとスクープされるや、ファンが手の平を返し、こき下ろすように、力でローマを屈服してくれると期待していたメシヤが、だらしなくバリサイ人に乱暴され、ローマ兵に引きずり回されているのを見ると、群集は手の平返して、乱暴する側に回るのだ。  
 このように人々は、力強い救世主を求めもの、その力が自分の願いを満たす方向性とは関係が無く、自分に罪があると示されたり、悔い改めを要求されると知ると、そのようなメシヤなぞいらぬ、となるのだ。

イエスの十字架の道は、人々の期待に応える道ではない。  
 人を愛する事と、人の期待に応える事は別物だし、人を救う事と人の期待に応える事もイコールではない。  
 人の期待に応える事、人の歓心を買う事で「支持者が増えた」「集会が盛り上がった」といった幻想を抱き、気がついたら御心とは全然違う方向へと振り回されて行った、というような過ちを、教会はしがちである。  
 十字架の道とは、自分の握り締めている期待、握り締めている自我を、十字架に磔にし、主の期待、主の御心に委ねる道だ。  
 自分の思い・意思・感情をホサナ(救いたまえ)と思う者は、それを失うが、主イエスのために自分の思い・意思・感情を失う者は、それを得るのである。(マタイ 10:38, 16:25)  
 主はゲツセマネで「私の思いではなく御心が成りますように」と祈られた。私たちがそれに習うべきである。  
 救いの源は、どこに置けば良いのか。黙示録に登場する、しゅろの葉を持った聖徒達からヒントを得たい。

「救いは、玉座に座っておられるわたしたちの神と、／小羊のものである。」(黙示 7:10)  
 救いとは、自分由来の何かを救う事ではなく、「私達の神と子羊を救いとす」事だ。  
 長老達は自分達の栄光の印である冠を御座の前に投げ出し、天使達も「賛美、栄光、知恵、感謝、誉れ、力、威力が、世々限りなくわたしたちの神にありますように」と栄光を捧げ尽して、アーメンと平伏した。  
 この聖徒達の告白、長老達の態度、天使達の賛美こそ私たちが見習うべき姿勢である。  
 「彼らは大きな苦難を通して来た者で、その衣を小羊の血で洗って白くしたのである。」(黙示 7:14)  
 人々は好き勝手な「ホサナ(おお救いたまえ)」を叫び、「いちじくの葉」の進化形である好き勝手な衣服をイエスの敷物にしたが、私たちが纏うべきは、子羊の血で洗った白い衣である。  
 それがまことの「しゅろの日」であり、私たちが主を迎えるべき姿勢である。

子羊の血によって白くした衣を纏い、勝利のしゅろの葉を持って、イエスを迎える皆さんでありますように。イエス様の名前によって祝福します！

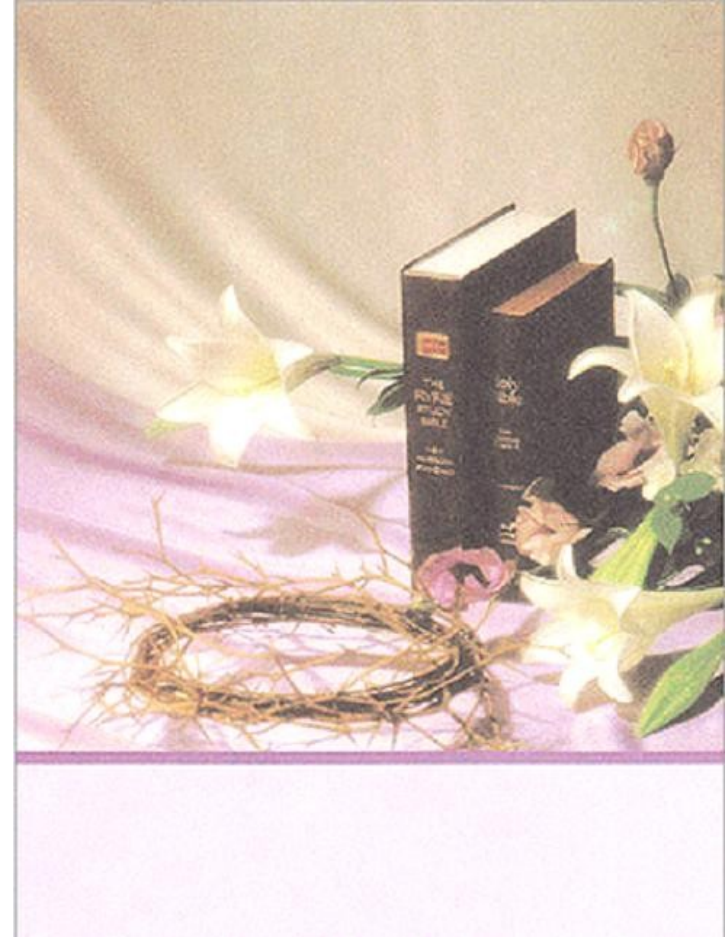
お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

第2巻16号

2011年 4月17日

# 横浜天声キリスト教会

## 1部礼拝 週報



### 集会案内

#### 日曜礼拝

1部	10:00
2部(韓国語のみ)	11:00
食事/フェローシップ	12:00～
3部(韓国語 日本語通訳あり)	14:00
聖書勉強会	15:00

#### 日々の集会

月～金	早天祈祷会	5:00～
火・木	夜の祈祷会	21:00～
<b>水曜集会</b>		
1部		13:00～
2部		19:30～
金曜徹夜祈祷会		21:00～

### アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅  
6番出口より徒歩5分  
JR・関内駅より徒歩10分  
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、  
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、  
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で

聖書メッセージをメールで  
毎日携帯にお届けします。  
左記コードを読み込み、  
空メールを送信するだけ！

〒231-0058

パスター：林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I -201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: [ephes\\_03-tensei@yahoo.co.jp](mailto:ephes_03-tensei@yahoo.co.jp)



モバイルサイト